



博物館で説明を受ける参加者



発行  
 浮田地区コミュニティ会議  
 電話&FAX  
 0198-42-1681

タイトル画説明

何年か掘らないままのゴボウ。2m程の高さになり開花。アザミに似た花は種採り用。春菊、紫インゲン、ミョウガの花たち。  
 絵・文(実)

## クニミサンハイジアート 国見山廃寺跡を訪ねて

平泉文化が栄華を極めた頃よりおよそ200年も前の平安時代中期、北上市稲瀬町に東北北部最大の寺院があったとされています。生涯学習部の歴史講座「国見山廃寺跡を訪ねる」は6月2日、12名が参加して行われました。北上市博物館で杉本良講師(岩手大学客員教授)から史跡の現在の状況や出土品遺物などの展示品の説明と、それらから分かる当時の寺や地域の様子をお聞きしました。廃寺の調査は昭和38年から始まっており、坂上田村麻呂が奥州を平定して胆沢に城を築いた時、その城を守る為の兵士(僧侶)の修練場として造営されたものと分かってきました。建物の規模は土台となる石の間隔や数、大きさから推定され、開山堂、社殿、七間堂など十一もの建物跡

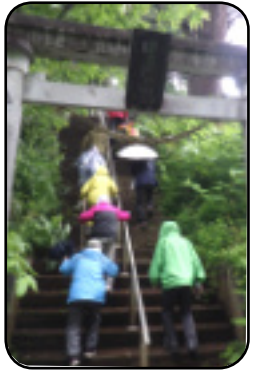
## 結の里便り 編集委員会研修

6月30日「近隣の特色ある取組みや史跡・景勝地を学ぶ」をテーマに行いました。はじめに、巨石信仰と古い歴史が残る砂子の大沢瀧神社や谷内の丹内山神社などを、小原明子宮司の解説で巡りました。いずれもパワースポットと呼ばれる所をピンピンと感しながら、中でも丹内山神社では、参加者たちが本殿を飾る彫刻を首が痛くなるほど見上げて、その細かく美しい様子に感嘆の声を上げていました。

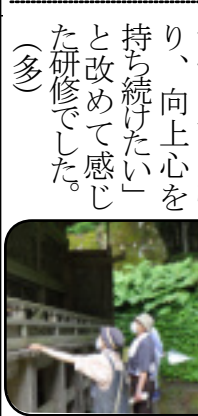


また境内では、雪が積もらないという肌石を撫で、日照り続きでも水が枯れないという手水鉢を覗き込んで、

何とも言えない気持ちになったようでした。昼食後は、コミュニティ会議の藤井事務局長の案内で、小山田方面のカズクリ自生地、七ツ滝のおう穴などを見学。町内に暮らしていてもなかなか立ち寄ってみる機会がない国指定天然記念物などを見て学習することができ、「雨に降られたけど景観が美しくて良いね」と来訪できたことを喜ぶ声が聞かれました。帰りは「おっほ」に寄り道。小山田地域が取組んでいるスーパードアをしました。「アンテナを高く張り、向上心を持ち続けたい」と改めて感じた研修でした。(多)



が確認されています。説明を聞いた後、参加者は発掘跡を廻って住時を偲び、地域の価値を見つめ直しました。(浩)



# 「写経・写仏教室」

浮田振興センターで6月15日、22日、29日の三回、伊藤恵美(めぐみ)さん(中内常泉寺)を講師に迎えて、7名の参加者で行われました。



「美濃和紙」という紙に、普段「筆」を持って書くという生活のない中、皆さん日常生活を忘れ、「ゆっく」と呼吸を止めずに心を込めて、お手本に近づける「持ちこ」と、講師のアドバイスのもと真剣に取り組みました。

参加者の中には、初めての方もいれば、何度も書いて10年ぶりに筆を握った方もいて「作品作りは楽しい」「何度も挑戦して良かった」「出来ると不安がなくなった」と皆さん喜んでいました。

講師の伊藤さんから「大

変身したかったです。時々和紙を出して書いてみてください」

最後は、出来上がった作品と一緒に写真を撮って終わりました。(郁)



# 振興センター事務室のグリーンカーテン

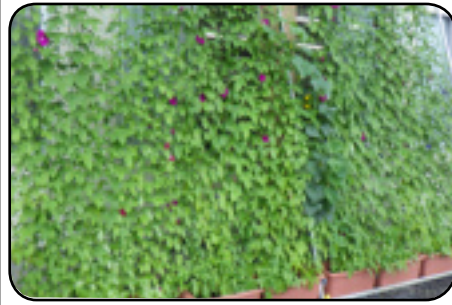
グリーンカーテンにしてから、み顔が、8月に伸びました。お陰で比較的温かい日が多いです。

自然の恵みを取り込んで、心地よい空間を作っています。

さながら、見事に咲きました。

さながら、見事に咲きました。

(多)



# 「元祖!! 軽トラ市」に行ってきました



7月10日、16名で栗石の軽トラ市に行ってきました。

この軽トラ市は5月〜11月まで毎月一回開催している栗石の名物です。平成17年から商店街の活性化を目的にやっていると実行委員



長の相澤さんより説明を聞き、それぞれ散策を始めました。道路中心部に軽トラが一列に並び、農産物はもちろん雑貨や軽食屋台、黄?まで何でもあり、人気の店には行列が出来るほど大盛況。なんと!! 軽トラも4台販売していました。物の販売方法として参考になると感じた軽トラ市でした。

その後、アルパカでお馴染み「サラダファーム(八幡平)」で昼食をとり、ガーデンパークを歩きました。のんびりと一日過ごすにはとても良い場所です。皆さんお土産(味付たまごが有名)を沢山買い、帰路に着きました。(賢)



# グラウンドゴルフ大会

6月25日、「コロナに負けるな! グラウンドゴルフ3rd大会」を花咲け広場(旧浮田小グラウンド)で開催しました。

32名のプレーヤーが「コロナに負けるな!」というタイトルはそろそろ終わりにしたいという願いを込めながら、和気あいあいとした雰囲気です。藤井安子さんが優勝し、連覇を果たしました。上位入賞者は次の通りです。(多)

順位	氏名	スコア
優勝	藤井 安子(中内)	63
準優勝	外山 隆二(中内)	66
第3位	釣木澤 俊孝(石宮)	66
第4位	小菅 勵(毒沢)	66
第5位	菊池 隆耕(毒沢)	69
第6位	千葉 隼夫(中内)	70

(3R24H)

# 「物見山(住田)ハイキング」

7月13日、講師の安藤勝夫さんと参加者11名で出発。講師からの宮沢賢治と種山ヶ原のエピソードは興味深いものでした。

小雨の為、雨具を着用して目的地を目指す。直ぐにドクウツギの木。猛毒との説明に参加者はビックリ!! ベニバナイチヤクソウ、ウメガサソウ、ミチバヒヨドリ等二十数種の解説に耳を傾け、花をカメラに収め

ながら種山ヶ原を進み物見山870・6mに到着。先ずは山頂で記念写真をパチリ。

生憎の雨と霧で遠くの山と景色を眺められず残念。しかし植物や花の解説を受けながらのハイキングは貴重な時間となりました。植物の確認に下見までして下さった安藤さんに皆で感謝し、物見山を後にしました。(辰)



## あの人この人

## はじめまして 古松さんご家族



義彬さん(弟) 信彬さん(兄)

去年11月石持に、「自然と調和し、農的暮らし」を旨とし移住した、義彬(よ

しあき)さん・優子さんご夫妻、兄の信彬(のぶあき)さんです。義彬さん・信彬さんは東京都巣鴨出身、優子さんは矢巾出身です。

東京の生活に疑問を持つていた時に転機が訪れ「渡豪」。そこで、「地域で協力し合い、人と自然が共に豊かになる暮らし」に影響を受け、帰国後、義彬さん(さか)と東晴山の「酒研修(さか)さん」の所で「自然と食」に興味を持ち、学んでいた優子さんと出会いました。兄の信彬さんは東京で会社員をしていましたが、帰

国した義彬さんに影響を受け自らも渡豪、帰国後は農業ボランティアで東北、甲信越、四国を周り東和に魅力を感じ移住を決意したそうです。

「自然と関わる事」ということを学び、農業を通じて暮らしに必要な作物が身近にあることの豊かさを感じました。東和町にある文化と人々の知恵から学び、自分たちの経験した事を活かして「多種多様」の作物の他「雑穀」に力を注ぎたい」と、写真の「高きび」をバックに笑顔でお話されました。(郁)

## リレーエッセー

## 今ある人生

中内に住み始めたのは、社会保険事務所を勤め終えた後すぐ、61歳からです。もうすでに20年が過ぎました。今では中内人にやっとなれたかなと思うこの頃です。

当初は山の中の一軒家と

思い、夫は毎日のように出歩き、一人家に居ることが多く淋しい思いをしておりました。車の免許がなかったため、家に居るしかなかったのです。そこで、思い切ったので、車の免許を取る事に! 61歳での挑戦です。それから

の人生は、夢の様な毎日を通り過ぎて、今では老人クラブの役員や趣味を生かして太極拳をやったり詩吟を詠じ楽しく過ごしております。

幸いに身体に支障もなく、グラウンドゴルフやゲートボールに積極的に参加し、楽しんでこの頃です。

80歳代の人生を楽しもうと頑張っ毎日を過ごしております。

(中内 藤井 安子)

## ゆるゆると

カントリーヘッジ (羊の生垣)

体長2cmほどの小ささで緑鮮やかなアマガエル。いつもの夏もこんな位にいただらうか...というほど目にする今年。

南西に開けている家の前には、ほどよい木陰をつくってくれる合歓の木は、苗木を植えて15年、見上げるほどの大木になった。花の季節、木の下に置いてある車は出かける前には落花の掃除。それにあちこちに隠れているアマガエルの捜索が必要。ワイパーの根元、ドアのガラスの角っこ: 思いがけないところに小さなカエルは心地よさそうにいるのだ。いつも通りカエルを草むらに押し出さず、きたはずなのに帰り道でサイドミラーの隅っこに小さなカエルを見つけたときの驚き! カエルも無事帰還し庭に放ち安堵。

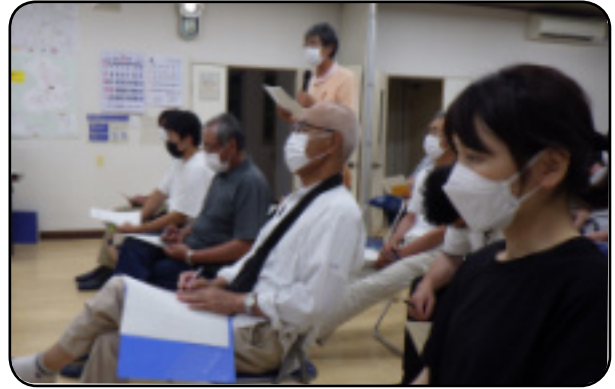
『アマガエルとくらす』という絵本を思い出し開く。14年生きたアマガエルと暮らした家族の記録。身近にいるアマガエルが、ぐつと親しい存在になったこの夏。

(山本 実紀)

# 市政懇談会開催される

7月5日浮田振興センターで市政懇談会が開催されました。花巻市からは市長のほか、生涯学習部を除くすべての部長が出席し、二つのテーマで意見交換が行われました。

最初に、浮田地区コミュニティ会議副会長の佐々木龍雄さんが、地域農業・農村景観について、市の施策などをお聞きしました。すぐ目に見えるような改善や打開策が出てき難いテーマですが、空き家対策、鳥獣被害対策や公共交通など幅広い分野での意見交換が行われました。



続いて、同会議副会長の千葉和弘さんが、令和2年3月に閉園した浮田保育園の今後の取扱いについて、市の考え方を伺いました。地域では解体の意向が強いことから、令和5年度に解体費用を精査し、翌年に解体撤去の方向が話されました。

なお、この市政懇談会の内容は、花巻市ホームページに掲載される予定です。  
(千田)

# 事務局だより 「遊」だより

芸農まつりが行われます  
○3年ぶりの「芸農まつり」開催へ実行委員会を立ち上げて活動を展開中です。コロナ感染拡大防止策をとりながら賑わいを作りたいと、実行委員会(千葉和弘委員長)が中心となり検討を重ねております。

▽開催日…

令和4年10月30日(日)

▽開催時間…10時〜13時

▽メイン会場…

浮田集会所講堂

▽展示会場…

旧浮田保育園ホール

▽軽トラ市会場…

旧浮田保育園園庭

メイン会場では浮田神楽や地域の有志による舞踊などが行われます。

展示会場には生涯学習講座で取り組んだ作品や、なごみホーム浮田の作品。地域の皆さんからの作品展示を行います。

園庭では軽トラックに積んできた自家製の野菜。味噌などの加工品、手作り箸や雑貨の販売。加工工房か

らはがんばりやパンの販売。そのほか、ピザや焼きイモなど各店が軒を並べます。どうぞ、お誘いあわせていらしてください。

## イノシシに注意

○浮田の駒籠地内水田が猪に荒らされているのを7月29日に見つけました。その後、猟友会の協力により罠を設置しましたが、猪が入った場所の稲は収穫しないよう指導されております。農家の皆さんは圃場の点検をお願いします。  
(輝)

消防より警報機交換のお知らせ

# 編集後記

6月30日に編集委員の内名勝、神社巡りを実施しました。編集委員も入れ替わり又若返りも有、事務局立案での実施。近くに住んで居ながら「ふーん知らなかった! そうなんだ!!」を連発しながらも、しっかりと見分しました。

観て周ると、定期的に環境整備されてる所、維持管理だけの所とまちまちで、やはり環境は地域の奉仕有つての事と、つくづく痛感しました。丹内山神社では私達が見学、説明受けてる中、若い人達もぼつぼつ見学に来ていました。

本殿裏の巨石「胎内めぐり」へ参加者もチャレンジ。子宝や大願成就、果たしてご利益は有るのか・・・?  
(雅)

編集委員長

平野 浩一(宮田)

編集長

山本 実紀(毒沢)

編集委員

山口 友恵(宮田)

千葉 三恵(中内)

多田 辰雄(上浮田)

千田 浩志(毒沢)

小田島賢志(下浮田)

渡辺 郁美(中内)

題字

千葉 稔(下浮田)

事務局

藤井 輝雄(中内)

小田島多賀子(下浮田)